

プレスリリース

モビリティの新時代へ： ヴァレオ、2016 パリ・モーターショーで新技術を披露

2016年9月29日パリ発表プレスリリース意訳 – より安全で、よりクリーンで、より自動化され、より接続された車に。私たちはかつてない自動車革命の夜明けを迎えています。ヴァレオは、2016 パリ・モーターショーで、このモビリティの新時代に貢献する最新のイノベーションを披露します。

ヴァレオが設計・開発した先進技術の数々は、世界 19 カ所の研究センターと 35 カ所の開発センターで働く 12000 人近いエンジニアのハードワークの賜物です。



ヴァレオ Cruise4U、実際の交通状況の中で自動運転が可能な技術を搭載したプロトタイプ。

ヴァレオ Cruise4U は、市街地でも高速道路でも、ハンドル操作、加速、減速など運転に必要な全ての操作を安全にとりおこなうことができます。周辺環境をリアルタイムで検知し、得られたデータを瞬時に処理することにより、ヴァレオ Cruise4U は高い安全性を提供します。3 つの異なるタイプのセンサーからのデータを結合することで、ヴァレオ Cruise4U は、昼も夜も、晴れでも雨でも霧がでて、道路状況を把握することができます。ヴァレオは、カメラ、レーダー、

レーザーLiDAR を組み合わせることにより、10 センチから 200 メートル以上遠くまでを検知します。これは人の目では常にできているとはいえないレベルでしょう。センサーの情報を基に正しい決定が行えるように、強力なアルゴリズムを搭載したソフトウェアプログラムで解析されます。

ヴァレオのセンサー類と強力な分析ツールの組み合わせにより、ユーザーは事故の主な原因となっているヒューマンエラーのリスクから解放されます。米国の NHTSA によると、2015 年に米国で発生した交通事故の 94%の原因がヒューマンエラーによるものでした。

車載のドライバーモニタリングカメラが、昼も夜もドライバーの表情を捉えており、注意力の低下などが起きていないかをチェックしています。ヴァレオのドライバーモニタリングシステムは、以下の機能を備えています。:

- 注意が散漫になったり、居眠りをしたりしている時にドライバーに警告
- ドライバーを認知することで、キーやカードタイプのアクセスシステムより高いセキュリティレベルを提供
- ドライバーによるマニュアルドライブモードに移行できる状態であるかを常に確認 – 半自動運転の自動車にとって重要な機能

ヴァレオの 48V e4Sport は、これまでは相いれないと思われていたことをもたらす電動ソリューション



CO₂ と汚染物質の排出量削減は、もっとも重大な社会的なニーズの一つです。パフォーマンスを高めながらこのニーズを満たすというこれまでは両立できないと思われていたことを成し遂げるために、ヴァレオはパワートレインを電動化することによって、エネルギー消費量を抑えながら、エンジンパワーを高めるという画期的な技術を開発しました。

2016 パリ・モーターショーで、ヴァレオは 48V e4Sport を世界初公開します。エンジンのパフォーマンスを高めながら、燃料消費と CO₂ 排出量を低減させる新しいソリューションです。ヴァレオの 48V e4Sport は、ブレーキングの回生エネルギーを最大限回収し、48V バッテリーに貯めて、さまざまな目的に再利用します。たとえば、:

- スターター・ジェネレーターによるエンジントルクの増大(統合式ベルト式スターター・ジェネレーター iBSG)
- 電動スーパーチャージャーによる走り出しと再加速の際のエンジンパワーの最大化(48V 電動スーパーチャージャー)
- 完全電動モードでのドライビングと、低グリップ路面で後輪軸を 48V 電動後輪駆動(eRAD)に接続することで、効率のよい四輪駆動を実現

車両の電動化が進む中、48V e4Sport は、48V ソリューションの世界的なリーダーであるヴァレオの豊富なハイブリッドに関するイノベーション群を補完するものです。この中には、48V スターター・ジェネレーターによる廉価なハイブリッドソリューション Hybrid4All と、電動スーパーチャージャーとスターター・ジェネレーターを組み合わせた e4Boost などが含まれます。

安全性を高めるスマート・ライティング・エクスペリエンス



ヴァレオは今年のパリモーターショーで来場者がスマート・ライティング・エクスペリエンスのソリューションを体験できる場を提供します。これは、「ハイ・デフィニション・ライティング」と「ヴァレオ・キネティック・システム」の 2 つの革新的なライティングのイノベーションです。これらの 2 つの画期的なテクノロジーにより、自動運転モードで走行中の車がヘッドランプやリアランプが投影したり表紙する光によってさまざまな状況を伝えて周囲とコミュニケーションを取ることができ、安全性を高められるのです。



「キネティック・リア・ランプ」は、アイコンやカスタマイズされたメッセージを表示することで周辺に状況を伝えます。キネティック・システムを搭載した車は、自動運転モードで、緊急ブレーキをかけた車が前にあることや歩行者が道路を横断しているなど、センサーが危険な状況を検知したことを後続車に伝えることができます。

自動車部品サプライヤーであるヴァレオは、世界の全自動車メーカーのパートナーです。高い技術力を持つヴァレオは、CO₂ 排出量の削減と直観的なドライビングの発展に貢献する革新的な製品とシステムを提供します。

2015 年度のヴァレオグループの売上高は約 145 億ユーロであり、OEM 売上の 10%以上を研究開発に投資しました。ヴァレオは、32 カ国に 148 カ所の工場、19 カ所の研究センター、35 カ所の開発センター、15 カ所の物流センターを構え、約 88,800 人の従業員を擁しています。ヴァレオはパリ証券取引所に上場しており、CAC40 指数に採用されています。

本件に関するお問合せ先:

株式会社ヴァレオジャパン
〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13
グラスシティ元代々木 4 階
Tel: 03-5465-5710 (代表) Fax: 03-5465-5720
WEB サイト: <http://www.valeo.co.jp/>
報道関係お問合せ先 広報担当 石井
Tel: 03-5465-5744
E-mail: yoko.ishii@valeo.com